

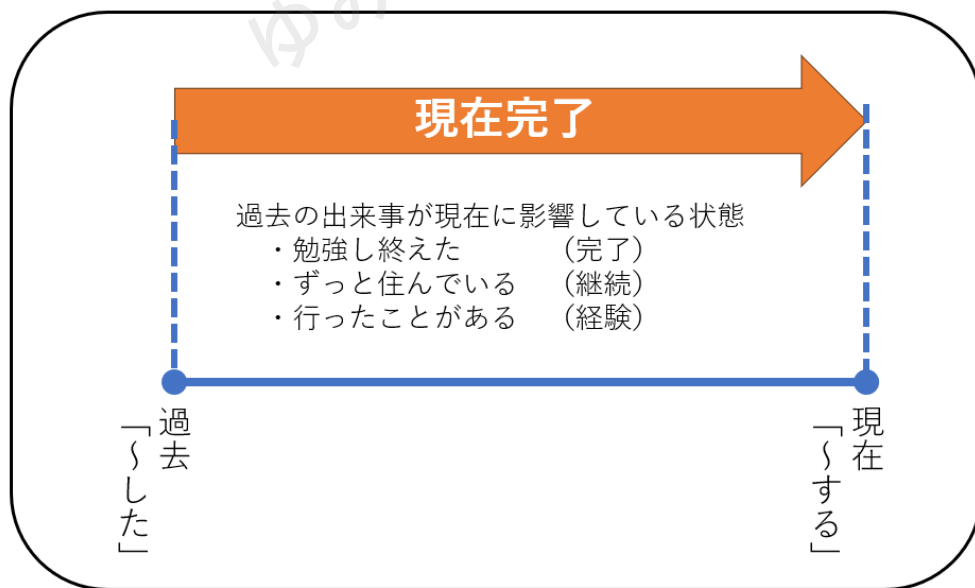
「現在完了（継続・経験）」例文と違いを わかりやすく解説

現在完了とは

現在完了の基本的なコアイメージについて理解しておこう。

まず、現在完了というのは、過去から現在まで続いている「状態」を示すんだ。

日本語ではあまり表現しない概念だから難しいかもしれないけど、図で理解してみよう。



現在形：I live in Tokyo. 「私は東京に住んでいる」
⇒今は住んでいるけど、前はどうかかわからない。

過去形：I lived in Tokyo. 「私は東京に住んでいた」
⇒前は住んでいたけど、今はどうかかわからない。

現在完了：I have lived in Tokyo for five years. 「私は東京に5年間住んでいる」
⇒5年前から今まで東京に住んでいるという状態を表す



このように、日本語にすると現在形と現在完了の両方とも「～している」という訳になってしまうんだけど、英語にすると全然違うんだ。

だから、現在完了のコアイメージをしっかりと理解しておくことで、現在形か現在完了かを区別しよう。

現在完了の継続とは

現在完了の継続用法というのは、「～している」と訳すよ。

継続というのは、「過去から今までずっと続いていること」を表すんだ。

例えば、

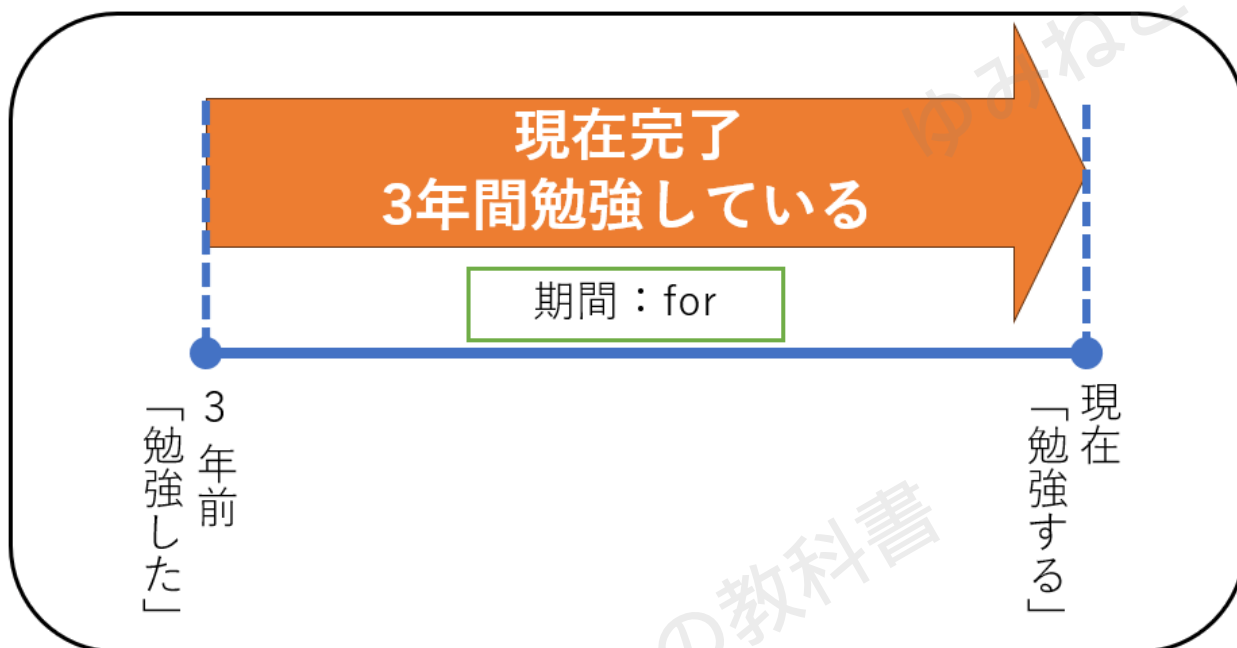
- ・私は3年間英語を勉強している ⇒ I have studied English for 3 years.
- ・彼は2010年からテニスをしている ⇒ He has played tennis since 2010.
- ・私たちは5年前から友だちです ⇒ We have been friends for 5 years.

という感じになるよ。

それぞれについてさらに詳しく見てみよう。

私は3年間英語を勉強している ⇒ I have studied English for 3 years.





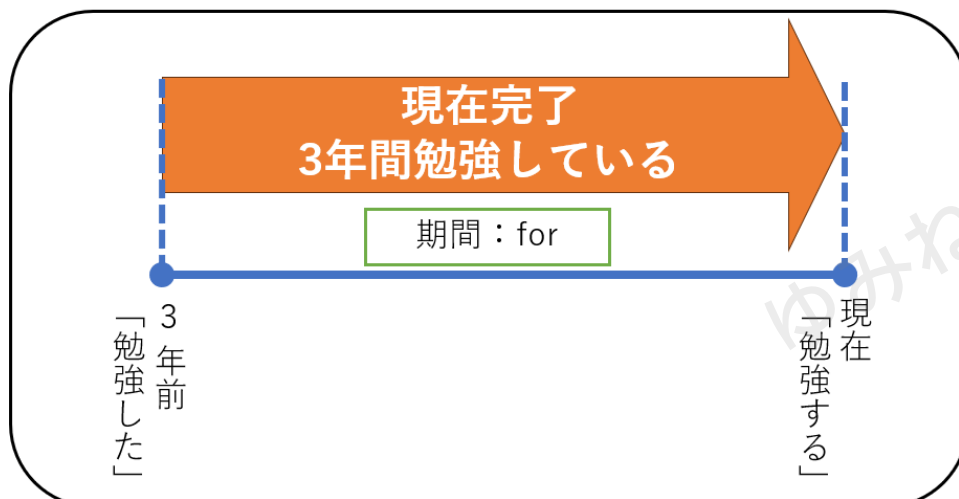
これは、3年前から今まで継続して勉強しているよね。

「継続している」から、現在完了を使うんだ。

もしこれが既に辞めてしまっていたのなら、過去形を使うよ。

また、「3年間」のように、期間を表している場合は"for"を使って時間を表すんだ。

彼は2010年からテニスをしている ⇒ He has played tennis since 2010.



これは、3年前から今まで継続して勉強しているよね。

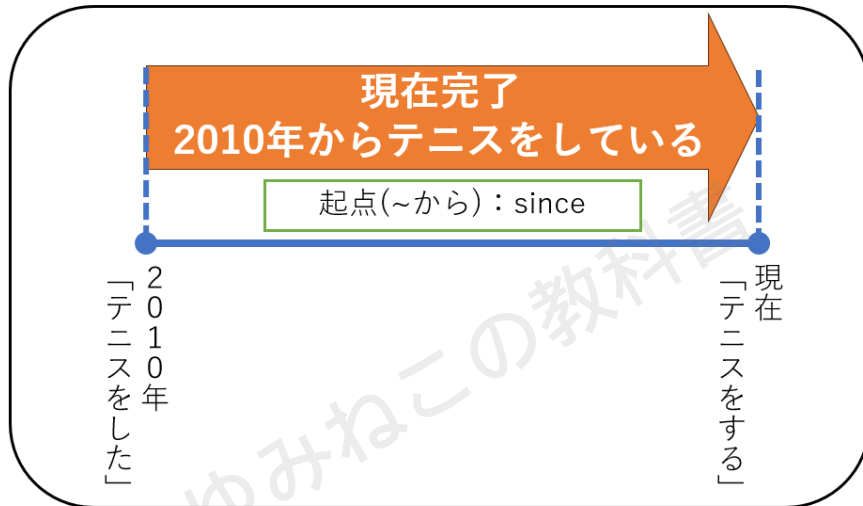
「継続している」から、現在完了を使うんだ。



もしこれが既に辞めてしまっていたのなら、過去形を使うよ。

また、「3年間」のように、期間を表している場合は"for"を使って時間を表すんだ。

彼は2010年からテニスをしている ⇒ He has played tennis since 2010.



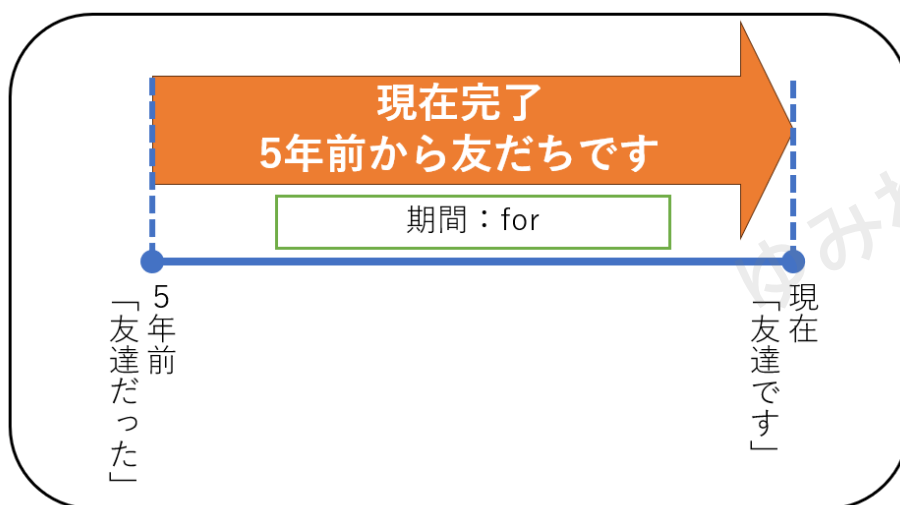
これは2010年から今まで継続してテニスをしているよね。

これも「継続」だから現在完了を使っているよ。

でも、「2010年から」のように起点を使う場合は、"since"を使うんだ。

このforとsinceの使い分けを覚えておくことが必要なんだ。

私たちは5年前から友だちです ⇒ We have been friends for 5 years.



そして最後に、ポイントを詰め込んだ文章だ。

現在完了はhave + 過去分詞を使っているんだけど、be動詞のときはどうするかを忘れがちになるんだ。

be動詞の時は、過去分詞"been"を使うことを忘れないようにしよう。
これは、"we are friends"というbe動詞の文の現在完了形になるよ。

でも、これは「5年前から」なのにforを使っているよね。
起点「～から」の場合は"since"じゃないのか？と不思議に思うかもしれないね。

ここは大事なポイントなんだ。
5年前っていうのと5年間っていうのは同じことだよ。だからforを使うんだ。

じゃあ"since 5 years ago"でもいいのかな？
実は、現在完了と相性が悪い単語があるんだ。それを確認して見よう。

現在完了は、過去から今までをつないでいる状態を表しているよね。
実際には現在のことだから、明らかに過去だとわかる単語を一緒に使うことができないんだ。

例えば、yesterdayやlast yearのように、昨日や去年は明らかに過去のことだよ。
その場合は過去形を使うんだ。

そしてもう一つ、「ago」という単語は「～年前」という過去を表しているんだ。
agoは過去形でしか使えない。
だから現在完了の文章では"since ~ ago"ということができないんだ。
その代わりに"for 5 years"にするんだね！

現在完了の継続用法の疑問文

次に継続用法の疑問文についてみてみよう。

継続の疑問文とは、「～の間～していますか？」と継続状況を聞くよ。
また、"How long"を使って「どのくらいの間」と期間を尋ねることができるんだ。



例文で確認してみよう。

- ・ Has he lived there for a long time? (長い間彼はそこに住んでいますか)
⇒ Yes, he has. / No, he hasn't.
- ・ How long have you studied English? (どのくらいの間英語を勉強していますか)
⇒ I've studied English for 5 years.

"for a long time"は長い間という期間を表す単語だね。

"How long"もどのくらいの間という期間を尋ねる単語だね。

このように疑問文だと期間を尋ねることになるんだ。

現在完了の継続用法の否定文

否定文の作り方は完了用法と同じく have not(haven't)にするだけだよ。

- ・ I have not (haven't) studied English for three years.

のようになるよ。

現在完了の経験用法とは

次に現在完了の経験用法について確認してみよう。

この場合は「～したことがある」と訳すよ。

例えば、

- ・ 私はアメリカに行ったことがある = I have been to America.
- ・ 彼は父のコンピュータを1回使ったことがある = He has used his father's computer once.
- ・ 彼女はカメラを使ったことがありますか? = Has she ever used a camera?

という感じになるよ。



さらに詳しく見てみよう。

私はアメリカに行ったことがある = I have been to America.

これは経験用法の中で一番大切なフレーズだからしっかり覚えておこう。

行くと言ったら普通は"go"を使うよね。

だけど、現在完了で「行ったことがある」と言うときには"have been to"を使わないといけないんだ。

goを使って、"have gone to"にしてもいいのかな？

"have gone to"を使うと、別の意味になってしまうんだ。詳しく見てみよう。

実は、"have gone to"という英語は存在している。

だけど、それは「行ってしまった」という完了の意味になるんだ。

だから、「行ったことがある」ということを表したいときには使えないんだよ。

- ・ He has been to Kyoto = 彼は京都に行ったことがある(経験)
- ・ He has gone to Kyoto = 彼は京都に行ってしまった(完了)

現在完了の経験用法の疑問文

経験用法の否定文では「今までにしたことがありますか？」と経験を尋ねることになるんだ。

だから、今までにという意味のeverと一緒に使われることが多いんだ。

例文を見てみよう。

・ Have you ever been to America?

⇒あなたは今までにアメリカに行ったことがありますか？

・ Has she ever seen a volcano?

⇒彼女は今までに火山を見たことがありますか？



このように、everを使うことができるのは「今までに～したことがありますか？」という経験用法だけなんだ。

現在完了の経験用法の否定文

経験用法の否定文は、他の否定文と一番違うところがあるんだ。
それは、notの代わりにneverを使えるというところなんだ。

例えば、

I have not been to America. という文章だと、
私はアメリカに行ったことがないという意味になる。

これをneverを使って

I have never been to America. という文章になると、
私はアメリカに一度も行っていないというように

否定文が強調されるようになるんだ。
これが一番大事なポイントだよ。

完了と継続と経験の用法の見分け方

完了	継続	経験
<ul style="list-style-type: none">• already• just• yet (疑/否)	<ul style="list-style-type: none">• for• since• How long(疑)	<ul style="list-style-type: none">• once• twice• ~ times• never(否)• ever(疑)



完了用法の見分け方

完了用法は「～したところ」と訳す。

- ・肯定文に"just"や"already"
- ・疑問文と否定文にyet

などの単語と一緒に使われていたら完了用法だ。

継続用法の見分け方

継続用法は「ずっと～している」と訳す。

forやsinceなどの期間を指定する単語と一緒に使われていたら継続用法だ。

経験用法の見分け方

経験用法は「～したことがある」と訳す。

- ・once, twice, three times などの回数
- ・疑問文のときに"ever"
- ・否定文のときに"never"

などの回数を表す単語と一緒に使われていたら経験用法だ。

